

協賛ご担当者 様



高専生が競う
「第2回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」

ご協賛のお願い ver.1.1

2021

2021年7月吉日
インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会

謹啓　ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2020年度はコロナ禍ではございましたが、
「第1回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」（インフラテクコン）を
成功裏に開催することができました。
お力添えいただいた皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

2021年度もインフラテクコンを開催いたします。

貴社・団体のCSR活動の一環として、また、新たな技術・サービスの発掘・育成、
リクルートにもつながると考えております。

インフラテクコンは、インフラマネジメントの魅力を広げ、伝え、
産業としての確立を目指しています。
活動趣旨をご理解いただき、ぜひご協賛賜れますようお願い申し上げます。

2021年7月

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会

▶ まちづくりの目標と
手段の変化

これまでの日本には、発展という全国共通の目標が存在しました。そして、インフラを含め、発展を実現するための全国共通の手段が存在しました。

しかし、成熟期を越えた今、課題やニーズは地域ごとに多様化し、まちづくりの目標や手段は全国共通のものではなくなりました。

▶ インフラの
役割の変化

インフラはこれまで全国共通のまちづくりの手段の1つでしたが、今後は地域ごとに求められる新たな価値やサービスを創造・提供するとともに、地域共創・協働を推進するハブ的な役割も期待されます。

▶ 高専とインフラ

そして、それらを実現するプレイヤーとして、また地域関係者間のコミュニケーターとして、地域に根差した高等専門学校と、地元と技術に深い愛情を持つ高専生がキーパーソンになると考えています。

▶ インフラテクノコンの
意義

「インフラマネジメントテクノロジーコンテスト」は、こうした社会情勢の変化やニーズ、課題に対応できる人材育成を目指し、高専生が地域課題に気づき、インフラの新たな役割を考え、その過程で企業や地域行政とつながる機会を提供しています。

インフラテクコン概要（１）



イベント名	インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2021（インフラテクコン2021）
スローガン	まちを守る。未来を創る。
キャッチコピー	繁栄か、廃退か 街の未来は君たちの「技術」と「アイデア」に託された 高専生 挑戦せよ！
テーマ	今年度は参加者の独創性からテーマは自由としています ※テーマ例として広報・合意形成・住民参加・省力化/合理化技術・代替サービス・仕組み等
対象インフラ	公共インフラ（ネットワーク系、ハコモノ系）すべて ※鉄道、橋梁、道路、電気、ガス、上下水道、通信、庁舎、学校、文化施設、空港、港湾、清掃工場など
コンセプト	<学びを活かして社会課題を解決するワクワク感を体験> インフラマネジメントを仲間と一緒に考え・まとめ・発表することを通して、勉強してきたことがただテストのためだけではなく、社会に役立てられることを知る機会とする

インフラテクコン概要（2）



狙い・目的	・学校だけでは身につけにくい「課題発見力」を養う ・学校だけでは学びにくい「地域・まち」と「インフラ」の関係性を知る ・インフラマネジメントへの当事者意識を醸成する ・インフラマネジメントを担うさまざまな企業を知る	
ターゲット	全国57校の高等専門学校生	
開催方法	オンラインコンテスト	
スケジュール	8月 2日 1次審査受付開始 10月 4日 1次審査受付終了 11月 1日 1次審査結果発表 (10校程度を予定)	12月20日 最終審査受付終了 2月上旬 最終審査発表 3月上旬 高専インフラテクコン交流会
目標	応募57校	
運営等 2021年★月★日現在	<主催> インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会 (NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム公認事業) <共催> 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 人生100年社会デザイン財団 <後援> 国土交通省、国立高等専門学校機構、国際協力機構、土木学会、建設コンサルタンツ協会 以下申請予定：文部科学省、日本建築学会、日本技術士会、日本橋梁建設協会、 持続可能な社会のための日本下水道産業連合会 <協力> インフラメンテナンス国民会議市民参画フォーラム、日本ファシリティマネジメント協会インフラマネジメント研究部会 <協賛> 2020年の実績についてDATAをご参照ください	

審査概要



本戦

最優秀賞 チームC

優秀賞 チームN

地域賞 チームF
チームJ
チームM

最終審査

1次審査通過

敗者復活

★このほか、プラチナスポンサーは押しチームに「企業賞」の贈呈が可能（対象は全エントリーチーム）

自由枠

奨励賞 チームK

協賛企業による審査

自由参加

一次審査

チームA

チームB

チームC

チームD

チームE

チームF

チームG

チームH

チームI

チームJ

チームK

チームL

チームM

チームN



協賛メニュー



	プラチナパートナー	ゴールドパートナー	オフィシャルサポーター (個人のみ)
スポンサー料金	1口 250,000円	1口 50,000円	1口 3,000円
企業課題の設定	○	—	—
企業賞の授与	○	—	—
高専先輩からのメッセージを HPへ掲載	○	—	—
日経産業新聞 「高専に任せろ」特集 への掲載	ロゴ+社名掲載 (協賛口数による)	社名のみ	—
サイトへの掲載	スポンサー一覧 ロゴ掲載 (大)	スポンサー一覧 ロゴ掲載 (小)	スポンサー一覧 社名掲載
コンテストの評価投票権	10票	3票	1票
作品集進呈	○	○	(PDF)

協賛メニュー 掲載例 (1)



日経産業新聞「高専に任せろ」企画ページ掲載イメージ

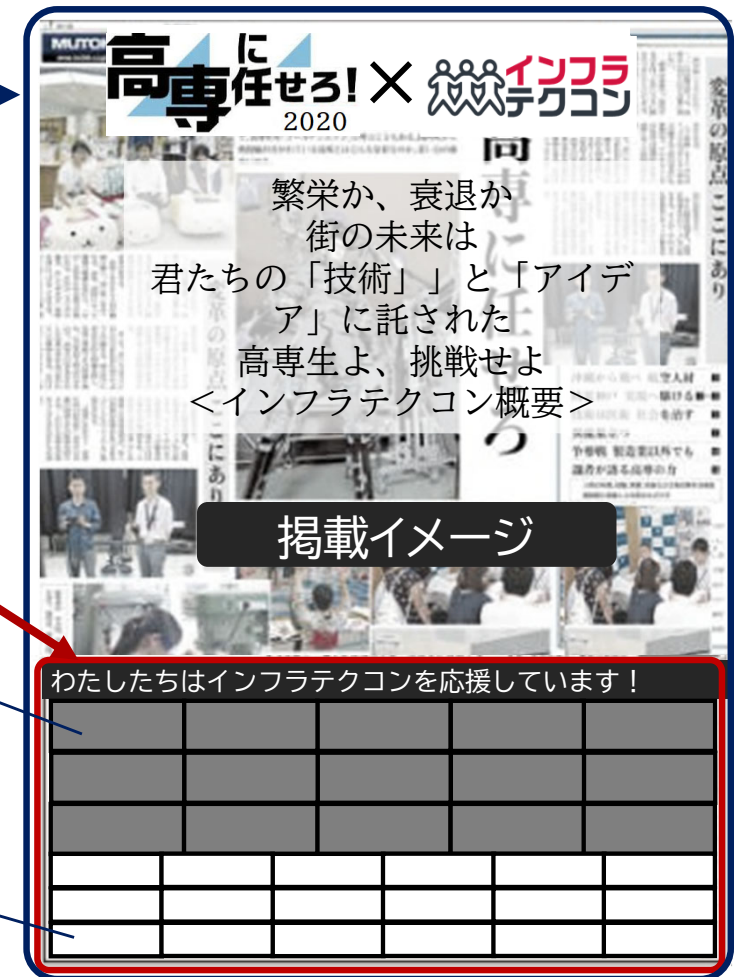
・インフラテックコン企画ページ
全面

・パートナー企業紹介スペース
全5段（天地168×左右379mm）

プラチナパートナー
ロゴ+社名
1口：天地33.5×左右76mm

ゴールドパートナー
社名
1口：天地22.5×左右63mm

※スペースはパートナー数により
変更となる可能性があります



※2021年11月下旬発行予定、発行部数10万部

協賛メニュー 掲載例（2）

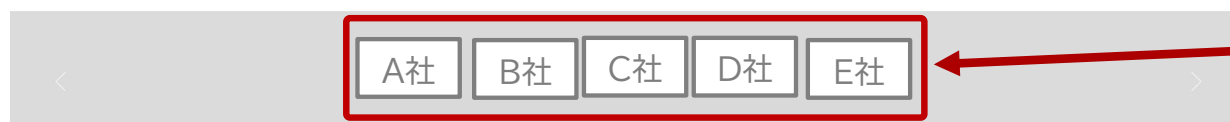


トップ画面

<https://www.infratechcon.com/>



2020年 9月1日 1次審査 募集開始
2020年 11月1日 最終審査 受付開始
2021年 2月 入賞報告会
選考委員 選考委員のご紹介



各社様のロゴを順次スライドショーで表示します

協賛メリット



インフラテクコンにご協賛いただくことで、御社にとりましても下記のようなメリットがもたらされるものと考えております。

■社会への貢献

- ・若手技術者の育成/高専との共同研究のきっかけづくり
- ・インフラを通じた地域協働のきっかけ、拠点づくり
- ・インフラメンテナンスにかかわる大規模工事に対する市民理解の促進、必要性の認知
- ・「インフラマネジメント産業」の確立と新市場の開拓
- ・新技術、アイデアの発掘、実装
- ・高専の教育ネットワークを活用したインフラマネジメント産業の海外展開
- ・毎年開催するイベントによる、継続した社会貢献

■リクルート側面

- ・問題解決力の高い優秀な高専生へのアプローチ
- ・多様な学科の高専（特に専門の先生）、高専生とのネットワーク構築
- ・withコロナにおける新たな採用活動の一環としての活用

お問い合わせ・お申込先



■協賛申込締切

第1次締切: **2021年8月16日**

※プラチナパートナーで企業課題を設定される場合。もちろん企業課題がなくても結構です

最終締切 : **2021年9月30日**

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト実行委員会事務局

アイセイ株式会社 内

FM推進室

岩佐、岡野

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里2-40-3

Tel: 03-6806-7281

メール: info@infratechcon.com